日文教育資料［ 道徳 ］

どうとくのひろば

No.17

テーマ
「道徳教科化への準備」

こころのひろば
「共に，生きる。」［滝川クリステル］

特集
道徳教科化に向けて，今のうちにこれだけは！

見てわかる! 道徳
「善悪の判断」「希望と勇気」「個性の伸長」
［越智 貢,奥田太郎,上村 崇］

実践事例
小学校 **これからの自分を考える実践**
［石塚 夕希子］
中学校 **役割演技を取り入れて，主題に迫る道徳授業**
［小貝 宏］

こんなとき，どうする?
道徳の正解は，誰が決めるの?
［深井 守,上江洲 毅,野平慎二］

どうとくマンガ
「どうする?とくだ先生！」第6話
［島 恒生／たら子］

連載 地球の仲間からのメッセージ
準備 ［長瀬健二郎］

本資料は，「教科書発行者行動規範」に則り，配布を許可されているものです。

日文の実践事例、教科情報
詳しくはWebへ! 日文 検索

未来をになう子どもたちへ
日本文教出版／秀学社

こころのひろば

「共に，生きる。」

＜前編＞

フリーアナウンサー，
「クリステル・ヴィ・アンサンブル」
代表理事

滝川クリステル

プロフィール

1977年　フランス生まれ。
青山学院大学文学部卒業。
2002～2009年　フジテレビ『ニュース JAPAN』のメインキャスターを経てフリーに。
WWF（世界自然保護基金）ジャパン顧問，世界の医療団 親善大使を務める。
2013年　フランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章。
東京2020オリンピック・パラリンピック招致活動に貢献。
2014年　アニマルウェルフェアに則った犬猫の殺処分ゼロを目的に「一般財団法人クリステル・ヴィ・アンサンブル」を設立し，殺処分される犬や猫を減らす活動に力を入れている。

【一般財団法人クリステル・ヴィ・アンサンブル】
http://www.christelfoundation.org/

動物保護活動に取り組まれている滝川クリステルさんに，動物と共存できる社会の実現に向けて，日本ではどのような教育が必要なのかを伺いました。

―今日はどうぞよろしくお願いいたします。

教科書にも私が掲載されているんですよね。

―はい。道徳の教科書に「オリンピック招致活動で滝川クリステルさんが手振りをつけながら，世界に語りかけました。」というのを，掲載しております。

そうですか。今回の「共に，生きる。」というテーマもぜひ子どもたちに伝えていただきたいことなので，扱ってもらえるのはとてもありがたいです。

―弊社の道徳の教科書のタイトルが「生きる力」ですし，生命の尊さを伝えるという意味を込めてお話を伺いたいと存じます。

よろしくお願いいたします。

―オリンピック招致活動と同じころに，「クリステル・ヴィ・アンサンブル」を立ち上げられましたが，何かオリンピックと通じる思いがあったのでしょうか？

動物の保護や共存について，個人で活動していくにはやはり限界があると感じていました。そんな中，日本に2020年という目標ができて，ここで立ち上がるのがベストだと。

私にとって2020年はオリンピックでもあり，この活動を認知してもらうための期間にも思えたのですね。

―ご活動のきっかけというのはあったのでしょうか？

もともと弱い立場の人や動物のための団体を立ち上げたい気持ちがありました。まず，やはり一番声を出せない―「声なき声」と私は言っているんですけど―動物たちを何とかしたいと。このことについて声を上げる方がなかなか日本でいなかったという現実もありましたし。

―「動物愛護」についてはずっと関心をお持ちだったんでしょうか？

「動物愛護」でも「動物福祉」でもなくて，私たちはこれを「アニマルウェルフェア*」というふうに呼んでいます。私たちがいろんなものを与えてもらっている以上，共存する形で彼らにとってよりよい環境を作るべきだと思うんですね。海外では「アニマルウェルフェア」ってすごく進んでいます。

*アニマルウェルフェア……人間が動物に与える痛みやストレスなどを最小限に抑え，動物の健康的な生活・生存権を実現する考えのこと。

―日本と海外とでは考え方が違うものですか？

かなり違いますね。日本はアジア圏では進んできているようにも感じますが，先進国の中では一番遅れています。おもてなしなど，いろんな面で優れている日本ですが，ペットや野生動物との共存や生き物に対する知識については教育されていないと感じます。親が子どもに対して「命の大切さは当然知ってるでしょ。」と思っていても，実はちゃんと教えないと理解できないことなんですね。海外では，教育者がちゃんときめ細やかに「動物と人間は対等」だと伝えています。

―具体的にそういう授業があるんですか？

はい。以前，コスタリカで教育の現場に行かせてもらいましたけど，興味深かったのは，「私たちは生態系の中の一部であって，決して上にいるわけじゃない。征服しているわけじゃない。」ということを教えていたことです。そう言われると「えっ？」って思いますよね。私たちは生態系や食物連鎖の図で人間が入っていないことを不思議に思わないですけど，「入っていないことが不自然」ということを教えているんです。そういう教育が強化されている国だったので，「ああ，すごいなあ。」って思いました。

―生態系の一部に人間もいるという気持ちを忘れてはいけないということですね。

はい。本当に対等。一緒に生きているということ，共存してるってことを忘れちゃいけない。そして，それを子どもの時からちゃんと教えないといけない。

ペットも野生動物も同じことだと思うんですよね。「飼ってあげている」と思いがちですけど，どれだけ私たちも彼らのおかげでいろんなことを与えられているか。動物の立場になってみることで，自分たちも教わることがたくさんあります。それは子どもも一緒だと思うんです。

―日本でもそのような授業が必要だとお考えですか？

そうですね。私は「命の花」という，殺処分について考える活動を支援しています。

「命の花」は，高校生が自ら気づいてやっている活動なんですが，本当は彼らから発信するのではなくて，大人から伝えないといけないと思うんです。

こういう問題って現実から目を背けちゃいがちですよね。最初のほうは私もそうだったし。

―では，何がきっかけで変わられたのですか？

「報道」ですね。ドキュメンタリーのような真実を伝えるという仕事では，現実に目を背けてはいられません。「見たくない。かわいそう。」という気持ちを突き抜けていこうと決断できてからいろいろ始まりました。

報道番組をやっていたときに「処分」の映像をテレビで初めて流したんですね。すごく抗議がくるかと思っていたら，肯定的な反応がほとんどで。「よく見せてくれた。これで現実が見えました。」とも言われました。

子どもたちにショックを与えずにどうやって伝えるか，そこが私も報道の立場で辛かったし，すごく悩んだんですけど，これがきっかけで動き出す人もいたと聞いて，もうそういう時期じゃないんだと。やっぱり「伝える人」として本当のことを伝えるべきなのだと思いました。

<次号に続きます>

日本文教出版の道徳の教科書に
滝川クリステルさんが登場しています。
「小学どうとく 生きる力 3」p.56～59
「『おもてなし』ってなあに」

特 集

道徳教科化に向けて，今のうちにこれだけは！

平成30年4月から，いよいよ小学校の道徳の時間が「特別の教科　道徳」（以下，道徳科）となります。

教科化にあたって何を知っておけばいいのか，読むべき資料，指導方法，いまさら聞けないQ＆Aの3つの観点からご紹介します。

その1 これだけは読みたい基礎資料 ―無料で揃う最強ラインナップ！

教科化解説の王道－これは必須

小学校学習指導要領解説「特別の教科　道徳編」

小学校学習指導要領解説
「特別の教科　道徳編」
平成27年7月
（文部科学省）

平成30年4月1日から全面実施される「改正小学校学習指導要領」で，道徳の時間が「特別の教科　道徳」（以下「道徳科」）として位置づけられました。

その指導要領の内容を詳しく解説したのがこの本です。文部科学省による解説ですから，道徳科とはどんな科目かという基本的な内容を押さえるための必読書です。

内容は，総説，道徳教育の目標，道徳科の内容，指導計画の作成と内容の取扱い，道徳科の評価の5章からなります。

特に，道徳科で扱うべき内容項目が小中を通じて一覧表になっているので，どのような内容項目が児童生徒の発達段階に応じてどう発展していくのか，全体的に把握することができます。授業計画を立てる上でもぜひ把握しておきたい部分です。

冊子での販売もされますが，文部科学省のホームページから無料でダウンロードできます（全112ページ）。

学習指導要領解説　特別の教科　道徳編　検 索

評価について知るために

「特別の教科　道徳」の指導方法・評価等について（報告）

「特別の教科　道徳」の
指導方法・評価等について（報告）
平成28年7月22日
（道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議）

道徳科の評価についての，「道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議」による報告書です。評価の基本的な考え方，評価のための具体的な工夫，今後の方向性，発達障害等のある児童生徒への必要な配慮について，多様な指導方法の確立や評価の工夫・改善のために必要な条件など，道徳の評価についての報

告がなされています。
　こちらも文部科学省のホームページから無料でダウンロードできます（全37ページ）。

道徳　指導方法　評価　検 索

48ページで濃く熱く

どうとくのひろば特別号
「特別の教科　道徳」ポイント解説資料

どうとくのひろば特別号
「特別の教科　道徳」ポイント解説資料
（日本文教出版　教育資料）

　道徳が教科になることで何が変わるのか，道徳科は何を目指すのか，道徳科の評価はどうすればよいのかなどについて，コンパクトにまとめた冊子です。
　また，学習指導要領の総則と道徳について，新旧対照表とそのポイント解説があり，これを読むことで今までの道徳と「特別の教科　道徳」の違いがわかります。

まずはマンガで手っ取り早く

どうとくマンガ「どうする?とくだ先生！」

どうとくマンガ
「どうする?とくだ先生！」

　悩める新任の中学校教師，徳田一道が，不思議な妖精（？）に導かれながら，道徳教育や道徳科の授業について考え，子どもたちとともに学び，成長していくというマンガです。日本文教出版 Webサイトで公開中です。本誌「どうとくのひろば」にも14号から連載され，この17号が最終回です。
　ある教育大学では，授業で参考資料として使用され，「わかりやすい。」と好評だったそうです。道徳について，まずはざっくり手早く知りたいときにお勧めです。

イラスト入りで基礎から解説

とくだ先生！と考える「特別の教科　道徳」

とくだ先生！と考える
「特別の教科　道徳」
文：島　恒生（畿央大学大学院教授）（日本文教出版　教授用資料）

　どうとくマンガ「どうする?とくだ先生！」でおなじみのとくだ先生やキャラクターたちと一緒に，「特別の教科　道徳」について考えます。
　20ページのコンパクトな冊子ですが，道徳教育・道徳科とは何かという「基本編」と，実践的な内容の「授業編」からなっていて，読み応えがあります。

　「『特別の教科　道徳』ポイント解説資料」「とくだ先生！と考える『特別の教科　道徳』」，「どうとくのひろば」のバックナンバーについては，弊社お問い合わせフォームをご利用ください。

日文　検 索

その2 道徳科の授業に生かしたい 7つの指導方法とその工夫

『小学校学習指導要領解説　特別の教科　道徳編』の第4章「指導計画の作成と内容の取扱い」の第2節3(4)，「道徳科に生かす指導方法の工夫」をもとに，7つの指導方法を紹介します。

1. 教材の提示

道徳の授業の目的は教材の内容理解ではありませんが，教材がわかっていないと授業が進められません。教材は読み物が中心のものが多いので，理解を深めるための工夫をします。

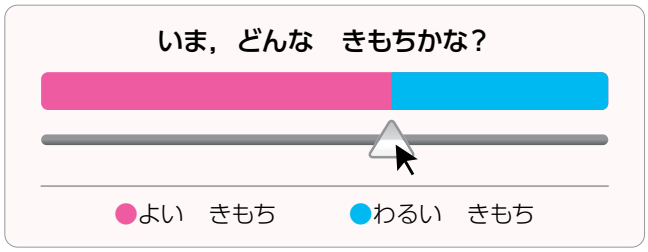
- **顔絵，場面絵*** ……登場人物の顔や教科書の挿絵を拡大して黒板に貼ると，内容を理解するのに効果的です。
- **BGM，効果音**……BGMは，教材を読むときに流すと臨場感や雰囲気が出ます。効果音* も登場人物の気持ちをより深く理解するのに役立ちます。
- **映像**……教材のアニメーション* や動画* などを視聴することで理解が深まります。

2. 発問

発問は，児童が自分との関わりで道徳的価値についての理解を深め，「物事を多面的・多角的に考える」ための教師からの問いかけです。とくに，その授業で一番考えさせたい発問が**「中心発問」**です。発問は，その場の思いつきでするのではなく，児童の意見を予想して，より深く考えられる効果的なものを事前に用意しておきます。

発問の効果を上げるには，「先生の質問はなんだったっけ？」「何を考えるの？」という児童が出ないようにする工夫が必要です。発問の共有化です。ツールとしては，発問を黒板に大きく書く，拡大コピーした発問を掲示する，**電子黒板に発問を拡大表示*** するなどの方法があります。

発問に対する応え方にもいろいろあります。発言で応えるのが一般的ですが，Yes／Noやどちらの意見かを色のカードを挙げて応えたり，自分の気持ちや考え（賛成の気持ちが○パーセントくらいあるなど）を**心情メーター***と呼ばれるツールで示すこともあります。



心情メーターの例

3. 話し合い

話し合いは考えを深める中心的な学習活動だと言えます。**「議論する道徳」**とも呼ばれるように，自分の考えを発表したり，友達の意見を聞いたりすることで，自分とは違ったものの見方を知り，考えを深めていくことが大切です。まさに，**「物事を多面的，多角的に考える」**授業です。また，ふだんのおしゃべりとは違う，友達の真剣な本音が聞けるのが新鮮だという子どもも大勢います。座席の配置を工夫すると効果的です。

話し合いにはいくつかの種類があります。

- **ペアトーク**…隣の人と意見を交流します。自分の意見を言葉にして聞いてもらい，相手の意見を聞くことで考えを整理し，思考を深めます。
- **グループトーク**…少人数での話し合いです。みんなで協力して，できるだけたくさんの意見を出すことが大きな目的です。

話し合いを始めるとついつい長くなりがちです。**タイマー*** を使うなどして，けじめのついた話し合いの工夫をします。

＊弊社教科書『小学道徳　生きる力』の指導者用デジタル教科書（別売）では，教材の朗読，顔絵・場面絵や発問の拡大表示，アニメーション・動画，効果音，心情メーター，タイマーなど，教材をより深く理解するための機能，授業に役立つ便利なツールを豊富に用意しています。

4.「書く」活動

考えをまとめ，整理するには，書くことが有効です。学習指導要領にも，「自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの**言語活動**を充実すること。」と書かれています。教材ごとに**ワークシート*** を用意し，書く活動を適切に取り入れたいものです。

また1冊のノートに書き続けるようにすると，以前書いたものを読み返すことができ，成長の記録として活用したり，評価に生かしたりすることができます。書くだけでなく，書きためることも大切なのです。

＊弊社教科書『小学道徳　生きる力』の別冊**「道徳ノート**（教科書なので無償です）**」**は，1教材につき1ページの**ワークシート**を設けました。1年間書きためることができ，道徳の「書く活動」を支えます。

また，友達の意見を書く欄，保護者の記入欄もあるので，児童と教師，友達，保護者をつなぐかけ橋としても役立ちます。

5. 動作化，役割演技

道徳の授業では，教材の登場人物になって即興で演技をする**役割演技**や，動きや言葉を模倣する**動作化**も行われます。体を動かして表現することで，言葉にならない思いを読みとれることがあります。

演技しやすいように，登場人物のお面や教材に出てくる小道具を用意することがあります。

6. 板書

教材の流れだけでなく，児童の発言を記録し，その変容を確認するためにも，**板書*** は教師が意図をもって示すことが大切です。黒板をなるべく広く使うために，近年では電子黒板と併用する学校も出てきています。

7. 説話

授業の終わりに，学んだ思いがより心に残るように，教師から働きかけをします。授業のねらいや内容項目に合わせた教師の体験談が児童の心にはよく残るようです。**終末の説話*** としては，ほかに，教材のねらいに合わせた詩や文章の朗読，写真や人物の紹介などがあります。

＊弊社発行の教科書『小学道徳　生きる力』の教師用指導書（別売）には，教材ごとに，教科書の進みに合わせた詳細な**板書例**が載っています。また，**終末の説話のヒント**も記載されています。授業計画にご利用ください。

※デジタル教科書，教師用指導書は現在制作中です。仕様や機能の最新情報は，日本文教出版 Webサイトで順次，お知らせいたします。

その3 考え，議論する道徳のためのQ&A

平成30年度より実施される「特別の教科 道徳」。この新しい教科にどのように取り組んでいけばよいのでしょうか？　日文Webサイト内「道徳と日文」特設ページでは，先生方のさまざまな疑問に対して，大阪市立上福島小学校校長の坂部俊次先生にお答えいただいています。その一部をご紹介しましょう。

Ⓠ児童が道徳の授業に興味を示さず，発問しても反応がありません。どのようにすればよいのでしょうか？

Ⓐ 5つの要因から見直しましょう。

道徳科の授業で教材を読んだあと，主人公の考え方や感じ方を話し合おうとして主発問をしますが，子どもたちの反応がよくなく，進んで発表しようとしない場面を見かけます。どんな原因があるのでしょうか。

主に考えられる原因は以下の5つです。

①学級経営に問題がある。
②不明確な主発問になってしまっている。
③主発問がマンネリ化している。
④発問内容に矛盾が起こっている。
⑤場や条件が不明確である。

授業を振り返って，当てはまっているように感じたら原因を次のようにして解消してみましょう。

①学級が自分の感じ方や考え方を出しにくい雰囲気になっていないか。

道徳科だけでなく，他の教科の学習時間でも，話しにくい雰囲気になっていないかどうか振り返ってみる必要があります。もし，すべての授業で話しにくい雰囲気があるなら，進んで話ができる学級をつくることが大切です。学級経営を充実することが必要になります。

②主発問の内容が変わっていないか。

子どもの反応がよくないと，次から次へと主発問を変えていませんか。教師は発問をかみ砕いているつもりですが，子どもはどの主発問に応えたらいいのか戸惑って，ますます反応が悪くなります。挙げている手が下りてしまう場合もあります。一度発問したらじっくりと考える時間をとりましょう。子どもが発問を聞いていなかったと感じたのなら，同じ文言の発問を繰り返しましょう。事前に十分に練られた主発問を準備しておき，いったん発問した文言の言い直しは避けるようにしましょう。

③いつも紋切り型で「○○さんは，どんな気持ちでしたか。」と発問をしていないか。

特に，小学校1年生では「○○さんの気持ちは。」と問いかけてもなかなか答えられません。「○○さんは，○○さんにどんなことをお話しするのでしょう。」「○○さんは，心の中でどんなことを言っているのでしょう。」など，発問の仕方を工夫することが大切です。

④気持ちを取り上げて気持ちを聞いていないか。

よく起こることですが，「○○さんは，つらくなっていますね。そのときどんな気持ちでいたでしょう」と，発問に気持ちを入れながら気持ちを聞いていませんか。

⑤主人公の場や状況が不明確になっていないか。

絵やペープサートを使うなど，視覚に訴えて問いかけていくことが大切です。

Ⓠ学校教育全体で行う道徳教育の要としての道徳科をどう進めるとよいでしょうか。

Ⓐ 3つの工夫に取り組みましょう。

毎週1時間の道徳科と，教科や特活などの学校生活との関わりを子どもがつかんでいると，さらに子どもたちの心の高まりが期待できます。週に1時間しかない道徳の時間だからこそ大切にして，確実に道徳の時間が行われていくように3つの工夫に取り組みましょう。

1つ目の工夫として，明日の予定に「第○回道徳」と書いて，道徳の授業を実践していきます。学級活動は，「第○回学級会（活動）」になっていると思います。道徳も学級活動のように回数を入れて，「第○回道徳」と書いて実践していくことは，教師自身が確実にやっていかなければならないことを自覚することにもつながっていきます。

2つ目の工夫として，全校で同じ時間に道徳の時間を行います。「水曜日の2時間目に一斉に行う。」と決めておけば，授業として欠けがちな月曜日に位置付けることはありません。また，全校一斉に行えば，年間指導計画に基づき，学年会でもねらい・資料分析・展開の大要・基本発問等に関わって話し合うことができ，よりきめ細かな授業を行うことができます。さらに，管理職は全校を参観する中で道徳の時間の実態を把握でき，指導に生かすこともできます。

3つ目の工夫として，学級掲示の中に位置付けることです。道徳の重点目標を踏まえた学級目標に向けて具体的に取り組むために，核となる活動や学校行事などを書いた1年間の計画を教室の背面に掲示します。ここに1年間を通して高まった子どもの姿を掲示していき，学級の宝物をつくっていきます。そこで，この掲示をつくるときに学級の重点項目となる道徳の教材名を位置付けていくことも，子どもたちが道徳科でどんな教材を学習するかがわかるとともに，教師が見通しをもってこの教材を扱うことにつながります。

Ⓠ評価を記述で表現する際の留意点，評価のための具体的工夫について教えてください。

Ⓐパフォーマンス評価とポートフォリオ評価を組み合わせ，ワークシートの活用を。

評価は，授業改善と子どもの道徳性の育成とを相互関連的に行うためのものです。また，道徳科における子どもの道徳性の評価は，子どもの伸びようとする道徳性のよさを見取り，1時間ごとではなく大くくりのまとまりで記述することになります。

道徳科で子どもの道徳性の伸びを認め励ます評価の仕方を考えてみます。指導者は学級全員の子ども理解に基づいて授業を展開しています。授業前の指導者の子ども理解は，パフォーマンス評価（日ごろの行動観察や生活指導，学級指導時の行動や表明した意見，アンケート等による担任の子ども理解に基づく評価）といえます。授業では子どもの発言を記録したり，ワークシートに書いた感じ方考え方を分析したりして，子どもの変容の評価を行います。これは，ポートフォリオ評価（授業時の発言やワークシートへの記述による子どもの変容の見取りによる評価）といえます。この組み合わせで，道徳科の評価を持っておきます。特に，ワークシートに指導者が子どもの考えのよさを認め励ます内容を朱書して，累積しておくことが重要です。ただし，これが学年末の指導要録や各学期の通知表に記述されるわけではありません。

ある学校の道徳教育の全体計画では，道徳教育の重点目標を，「互いに認め合い，思いやりのある子を育てる。」として，共通の重点をおく内容項目は，Aの「善悪の判断，自律，自由と責任」「正直，誠実」，Bの「友情，信頼」「相互理解，寛容」，Cの「規則の尊重」，Dの「生命の尊さ」をあげています。これらの内容項目を重点的に扱っていますので，年間に行ったその内容の授業を複数取り上げ，子どもの気付きが顕著なところや深く考えられたことを，まとまり的に「指導要録」に記述すればよいと考えます。

また，各学年の重点目標は，学年別あるいは，低・中・高学年別に，目標と重点をおく内容項目を同じように

あげています。これも，「通知表」へは，その学期の授業で顕著なものをまとまり的に記述で評価すればよいでしょう。

日文Webサイト内「道徳と日文」特設ページでは，ほかにもさまざまな質問にお答えしていますので，ぜひご覧ください。また，ご質問も随時受け付けています。

道徳と日文特設ページ
http://www.nichibun-g.co.jp/doutoku

道徳セミナー
～特別の教科 道徳に向けて～のご報告

平成29年3月20日，大阪・梅田にて道徳セミナーを開催しました。年度末，三連休の最終日にも関わらず，100名近くの先生方にご参加いただきました。

実践報告

齋藤眞弓先生
（茨城県石岡市立府中小学校教諭（当時））
「特別の教科道徳の完全実施に向けて，学習指導要領をどう読むか」
・学習指導要領の理解が大切である。
・多面的，多角的であることの具体的な姿。
・授業で迫ろうとする価値への教師の深い理解の必要性。
などを具体例とともに示していただきました。

龍神美和先生
（大阪府豊能町立東ときわ台小学校教諭）
「授業案をつくるときに大切にしていること」
・授業に新しい学びがあること，授業のねらいを具体的にもつことの大切さ。
・役割演技，動作化のポイント。
・指導案を使った具体的な授業像。
などをいくつかの教材と指導案を使いながら示していただきました。

河合宣昌先生（岐阜県岐阜市立市橋小学校校長）
「教科化に向けた校内体制づくり」
・教科化の経緯とポイント。
・校長，道徳教育推進教師，全教師のそれぞれの役割。
・研修，研究の進め方。
などをご自身の経験をもとに示していただきました。

講演

島　恒生先生（畿央大学大学院教授）
「授業の指導と評価」
「考え，議論する道徳」の実現に向けた具体的な手立て，指導と評価の在り方をわかりやすく解きほぐしながら具体的に示していただきました。

パネルディスカッション

それぞれの先生方から示された実践報告をもとに，より掘り下げた議論が交わされました。

アンケートより

・道徳科に向けて，改めて考えなおす時間となりました。
・普段の授業で活かしたいと思うものがたくさんあり，勉強になりました。
など，好評を得ることができました。

次回にもご期待ください！

見てわかる！ 道徳

〈 第４回 〉

「善悪の判断」「希望と勇気」「個性の伸長」

善悪の基準

善悪と一口にいってもいろいろな意味合いがあります。たとえば，「善悪の基準」といった場合，自分が善いと思うか否かという主観的な基準でもありうるし，社会の中で善いと認められるか否かという正しさの基準でもありえます。前者の意味のものを「善」，後者の意味のものを「正」とひとまずいうとして，ここで重要なのは，「善悪の基準」を考えるときに前提となる善と正の関係です。

「善悪の基準」の考え方としては，功利主義と義務論が代表的なものとして挙げられます。功利主義の考えによれば，ある行為について，社会を構成する個々の人々が享受する善の合計が最も大きくなる結果をもたらすなら，その行為は正しいとされます。つまり，個々の善のうえに正が成り立つというわけです。これに対して義務論の考えによれば，ある行為について，その行為が端的に「やるべきこと」であるなら，それだけでその行為は正しいとされます。つまり，個々の善悪に関わらず正はそれ自体として正だというわけです。

倫理的な問題を明晰に考えようとするとき，これら二つの考え方は大いに役に立つのですが，どちらも，道徳的な事柄を行為と規則にだけ注目して捉えているという点でやや狭く感じます。

たとえば，希望に満ちている人だとか，勇気ある人といったことは，私たちにとって道徳的に重要な事柄だと思われますが，功利主義と義務論の考え方ではそれをうまく説明できません。希望や勇気など，私たちが社会的に高い価値を置いて認めている性格や人柄は「徳」と呼ばれ，この徳に注目して道徳を捉える考え方は「徳倫理」と呼ばれています。徳倫理では，道徳的な事柄が問題になるときに私たちが大事にしているのは，行為や規則そのものではなく，それをどのような人が行ったかという，人柄の問題だと考えるのです。つまり，徳の高い人のように振る舞うことこそが道徳的に正しく振る舞うことだというわけです。

希望と勇気

勇気ある行動をとることは簡単ではありません。勇気は，極端になると無鉄砲な蛮勇に，慎重になりすぎると臆病になってしまいます。また，「万引きする勇気」も確かに成立しますが，そうした不正をする勇気を私たちは称賛したりはしません。「勇気」を身につけるためには，実行力（道徳的な意志）だけではなく，社会のなかの正しさを見極める判断力（道徳判断）も必要になるのです。

このように，徳倫理は社会と深く結びついています。正しい行いが称賛され，不正な行いが非難される社会のなかでしか，正しい行為は生じません。希望や勇気

表1　善き社会と道徳理論

道徳理論	功利主義	義務論	徳倫理
善悪の基準	最大多数の最大幸福の実現 関係する人々の善（幸福）を実現することが正しい	普遍的な道徳法則の遵守 道徳規則を守ることが正しい	徳ある行為の実践 徳のある人の行動が正しい
注目ポイント	行為や規則の正しさに注目		行為者（人柄）の善さに注目
規範の源泉	「善き社会」の理想		

監修：プール学院大学　教授　越智 貢
共著：南山大学　教授　奥田太郎
　　福山平成大学　教授　上村 崇

も同じです。希望をもち，その希望を実現する勇気を育むことが肝要だとされるのは，道徳と表裏の関係にある「善き社会」がそれを求めるからです。

実は，18世紀後半のイギリスとプロイセン（ドイツ）で産声を上げた功利主義や義務論も，それぞれ当時の社会の在り様に支えられています。つまり，どんな善悪の基準も社会と不可分なのです。それぞれの「善き社会」の指針が，善悪の基準として実現されているといってもよいでしょう

善き社会と個性の伸長

むろん，社会の在り様は変化します。それゆえ，今日の道徳を考える際にも，今日の「善き社会」の種々の条件を見極めなければなりません。今日の社会では，多様な出自の人々と協働し，多様な生き方を認め合い，多様な文化を受け入れることが「善き社会」の理想として求められています。そのためには，それぞれの個性を相互に尊重し，互いにそれを伸長させる姿勢が必要不可欠です。

個性の伸長は，「善き社会」を実現するために求められる理想であり，同時に「善き社会」が実現された状態でもあります。ですから，個性についても，「ひとを傷つける個性」や，「ひとをだます個性」は認められません。そうした個性は，他の人々の個性の伸長を妨げることになり，その結果，「善き社会」の実現を阻害することになるからです。個性の伸長は，社会の人々を絶妙なバランスのもとでつなぎ合わせるちょうつがいのようなものだといえるでしょう。

このように，希望と勇気，そして個性の伸長は「善き社会」の理想にもとづき育まれるものであり，私たちの社会をこれまでよりも道徳的により善いものにしていく原動力でもあるのです。

図1　善き社会と希望・勇気，個性の伸長
＊善き社会の理想にもとづき，希望・勇気・個性は育まれる。
　希望・勇気・個性がより善き社会を実現する。

実践事例
小学校

これからの自分を考える実践

東京都　町田市立鶴川第三小学校　主幹教諭　石塚 夕希子

1　はじめに

変化の激しい現代社会の中で，特に道徳教育においては，いじめ問題をはじめ「生命の尊さ」について考えることが重要になってきている。

「小学校学習指導要領解説　特別の教科　道徳編」には，「生命を大切にし尊重することは，かけがえのない生命をいとおしみ，自らもまた多くの生命によって生かされていることに素直に応えようとする心の表れと言える。」と書かれている。さらに，第5学年及び6学年においては，「家族や仲間とのつながりの中で共に生きることのすばらしさ，生命の誕生から死に至るまでの過程，人間の誕生の喜びや死の重さ，限りある生命を懸命に生きることの尊さ，生きることの意義を追い求める高尚さ，生命を救い守り抜こうとする人間の姿の尊さなど，様々な側面から生命のかけがえのなさを自覚し生命を尊重する心情や態度を育むこと」と書かれている。

本校では，「生命の尊さ」の内容項目での学習を年間で2回計画している。1回目は，人と人とのつながりの中で，命がまた新しい命を生む「生命の連続性」を主題とし，2回目は大切な人の死などを通して自己の命について気付く「精一杯生きる」ことを主題とした。年間での内容項目の位置づけを明確にし計画的に取り組むことで，児童の生きる基盤となる道徳性を養うことができるであろう。

2　授業展開について

本教材は，じいちゃんの余命が3か月と知り毎日病院へ通う大地と，孫（大地）の誕生日を間近にひかえ，病気に苦しみながらも孫に手紙を残したじいちゃんの話である。じいちゃんへの思い，家族の死に触れて成長していく大地の心情を共感的に捉え考えていく発問構成にしていく中で，最期のときも孫を思う愛情を知り，児童は，人の死，命の尊さに気付くことができるであろう。「あなたは精一杯生きていますか」と導入と展開の後段で二度問うことで，自己の命を見つめ，命を大切にして生きていこうとする心情をさらに高めたいと考えた。児童の「今生きていることに価値がある。」「家族へ感謝。」「友達の命も大切である。」といった発言や，命の尊さについて深く学び合う姿が印象的である。

展　開　例

内容項目：D「生命の尊さ」

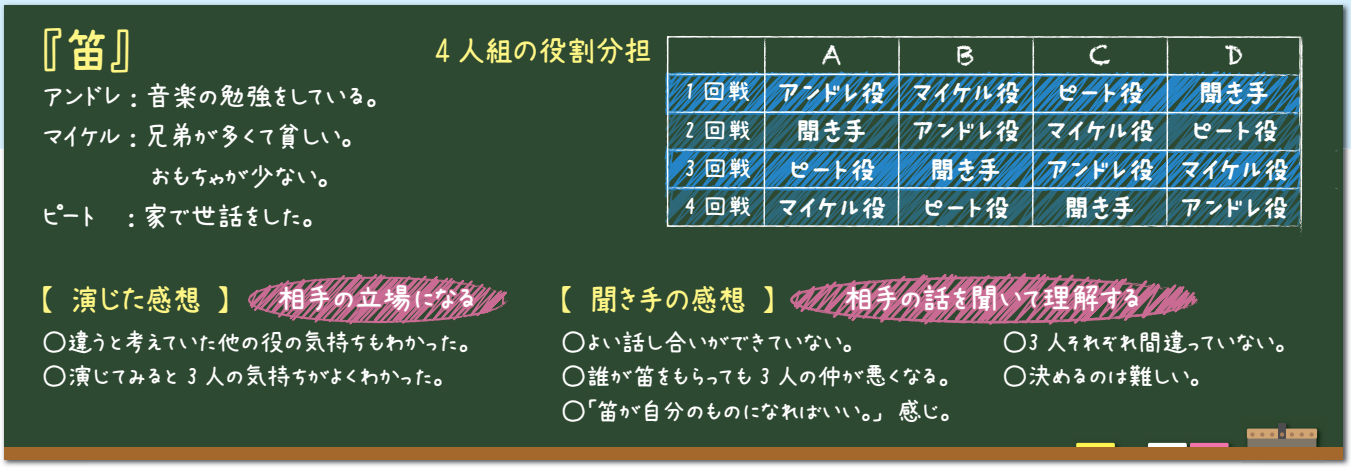
主題名 精一杯生きる	ねらい じいちゃんの余命を知り，毎日病院へ通った大地や，じいちゃんからの手紙を読んだ大地の思いに共感することを通して，命の大切さに気付き，精一杯生きようとする心情を育てる。
教材名 その思いを受けついで（日本文教出版）	

	学習活動（◎中心発問，○発問，・予想される児童の反応）	◇指導上の留意点　◆指導上の工夫　★評価
導入	**1 価値を意識する。** **「あなたは精一杯生きていますか」** **○命とは何だろう。** ・なくてはならないもの。 ・必ず死があるもの。 ・親からもらった宝。 ・一人にひとつしかないもの。	◆「あなたは精一杯生きていますか」を提示し，児童が自分の命について価値を意識できるようにする。 ◇命とは何かについて問い，価値への導入とする。
展開	**2「その思いを受けついで」を読んで話し合う。** **○「じいちゃんの命はあと三か月」と知らされた時，大地は，どんな気持ちだったでしょう。** ・信じられない。 ・うそであってほしい。 ・もっと早く知りたかった。	◇初めてじいちゃんの余命を聞いた大地の思いに共感できるようにする。
	○大地は，どんな気持ちから毎日じいちゃんのもとに通ったのでしょう。 ・時間を大切に過ごしたい。 ・少しでもそばにいたい。 ・生きる力をつけてほしい。	◇じいちゃんのところへ毎日通う大地の思いに共感できるようにする。
	◎じいちゃんの手紙を読んだ大地はどんな気持ちになったでしょう。 ・これからも頑張るよ。 ・ずっと，ぼくを見ていてね。	◇じいちゃんからの手紙を読んだ大地の思いに共感できるようにする。 ◆じいちゃんからの手紙を提示し，手紙の中に込められたじいちゃんの大地への思いにも気付かせることで，双方に思いがあることを感じ取らせる。
	3 自分の生活を振り返る。 **○今日の学習から，命についてどんなことを考えましたか。** ・命がある（生まれてきた）ことに感謝。 ・今を大切に生きていきたい。 ・夢に向かってがんばりたい。 **「あなたは精一杯生きていますか」**	★命について考え，精一杯生きようとする思いがもてたか。 ◆導入で使用した言葉「あなたは精一杯生きていますか」を提示し，自己を振り返る場とする。
終末	**4 教師の説話を聞く。**	◇教師が精一杯生きようと思った経験を話す。

実践事例
中学校

役割演技を取り入れて，主題に迫る道徳授業

東京都　新宿区立四谷中学校　指導教諭　小貝　宏



1　道徳科の目標

道徳科の目標は「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため，道徳的諸価値についての理解を基に，自己を見つめ，物事を広い視野から多面的・多角的に考え，人間としての生き方についての考えを深める学習を通して，道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度を育てる。」である。

2　道徳科の指導方法

この目標を達成するために，道徳科の授業では，生徒に主体的に学習に取り組ませたり，自分とのかかわりで考えさせたり，他者の考えに触れる機会を増やしたりすることが求められている。そのため，主題や教材に応じて，話し合い活動を工夫したり，役割演技等の指導方法を積極的に取り入れたりすることが必要となる。

3　役割演技

そこで，今回は，役割演技を用いた指導方法の実践事例を紹介する。道徳科の授業で用いる役割演技の効果として挙げられることは，登場人物になりきって演じることによって，生徒が登場人物に共感し，自然と自分と重ね合わせて考えることができる点である。

また，他の生徒のやりとりを聞いたり見たりすることにより，多様な考えに触れ，多面的・多角的に考えることができる。

4　4人組での役割演技

4人組になり，自分の考えばかりを主張し合う3人の立場と聞き手に立って役割演技をさせることによって，次の効果を狙うことができる。

①自分の考えだけを主張して話すことの苦しさを実感させることができる。

②自分がよいと考えていなかった者の立場に立って役割演技をさせることにより，「人の立場になる」ことを疑似体験させることができる。

③聞き手になった生徒には，3人の主張し合う様子を客観的に見させ，話し合いがうまく進まない理由を考えさせることができる。

5　授業での生徒の反応

【演じた感想】

○やってみると，自分がいいと思った役だけでなく，違うと考えていた他の役の気持ちもわかってきた。

○演じてみると3人の気持ちがよくわかった。

【聞き手の感想】

○よい話し合いができていない。これでは誰が笛をもらっても3人の仲が悪くなる。

○3人ともよくわからない理由ばかり言っていて，「笛が自分のものになればいい。」みたいな感じだった。

○3人それぞれ間違ったことは言っていない。決めるのは難しい。

展　開　例

内容項目：B「相互理解，寛容」

主題名　相手の立場を考える	ねらい　他者の立場に共感し尊重する姿勢をもち，意見や信念の異なる人々と協同して問題を解決しようとする判断力を高める。
教材名　笛（「道徳教育推進指導資料（指導の手引）６」文部省）	

	学習活動（◎中心発問，○発問，・予想される生徒の反応）	指導の意図（◆）と指導上の留意点（◇）
導入	**1　教材『笛』の説明を聞く。**	◆教材を理解しやすくするため，教材の登場人物，あらすじを簡単に説明する。
展開	**2　教材『笛』を読み，登場人物について話し合う。** **○どの少年の主張が正しいと思うか。それはなぜか。** ・アンドレの主張が正しい。音楽ができるのはアンドレだけ。他の人がもっていても吹けないのなら意味がない。 ・マイケルが正しい。遊び道具がないのはとてもかわいそうだし，ジョンはそのことを理解してくれていたから。 ・ピートが正しい。けがの手当てもして，家にずっと住まわせていたのもピート。そのことのお礼の意味もある。	◇読後に３人の少年の立場と主張を整理する。 ◆自身はどの立場に共感するのかを考えさせる。 **【評価❶】【評価❷】【評価❸】** ◇必ず，一人を選ばせる。 ◇それぞれの考えを挙手によって確認し，考えを発表させる。
	3　４人組で役割演技を行う。 **《演じ手の感想》** ・自分のことだけ考えている気がした。 ・演じてみるとその人の気持ちがわかった。 **《聞き手の感想》** ・自分のことだけを主張していて，醜いと思った。 ・自分のものになればよいという感じだった。 ・客観的に見て３人とも仲良くすればよいと思った。 ・誰がもらっても３人の仲が悪くなる。 ・３人とも筋が通っているので決めるのは難しい。 **◎少年たちの話し合いがうまくいかなかったのはどうしてだろうか。** ・自分の考えを主張するばかりだったから。 ・人の考えを聞いて歩み寄ろうとしなかった。 ・相手の立場に立って考えていない。	**【４人組での役割演技の方法】** ①４人でアンドレ役，マイケル役，ピート役，聞き手となって，どうすればよいかを話し合う。 ②役割を交替して①を行う。 （90秒×４回） ③演じた時と聞き手の時の感想をワークシートに書く。 ④演じた時と聞き手の時の感想を全体に発表する。 ◆少年たちの話し合いのよくなかったことについて考えさせ，逆に，よい話し合いをするために必要なことを意識させる。 **【評価❶】【評価❹】**
終末	**4　本時のまとめ** **○この時間に学んだこと，感じたことをまとめてみよう。**	◆学んだことを振り返り自己を考える時間とする。振り返りアンケートも記入させる。 **【評価❹】**

6　評価

他者の立場に共感し尊重する姿勢をもち，意見や信念の異なる人々と協同して問題を解決しようとすることについて

【評価❶】大切さを理解できたか。

【評価❷】自分のこととして考えることができたか。

【評価❸】いろいろな考え方をすることができたか。

【評価❹】心を膨らませることができたか。

【あらすじ】
　とある村の仲の良い三人の若者は，けがをした旅人ジョンを助ける。けがの治ったジョンの楽しい話とヒスイの笛の美しい音色で喜びにあふれた夏を過ごしたあと，三人は旅立つジョンからその笛を贈られた。三人はそれぞれ笛は自分のものだと主張を始める。音楽の才能豊かなアンドレ，貧しいマイケル，ジョンを泊めて世話をしたピート，笛の行方はいったい……。

こんなとき，どうする？

今回のテーマ

「道徳の正解は，誰が決めるの？」

子どもたちと接する中で出てくる，「こんなとき，どうする？」。
道徳教育をより輝かせるためのヒントを，先生方に教えていただきました。

自分です

岡山市立大野小学校
校長　深井　守

「道徳の正解は，最終的には自分が決めるのです。ただし，ひとりよがりになってはいけません。」と答えます。いろいろな人の意見をよく聞いて，十分に話し合って，しっかり考えて判断することや，いろいろなことを学習したり体験したりすることも大切です。それから，道徳の正解は，一つとは限りません。例えば，困っている人に手を貸すのが親切ですが，場合によっては，手を貸さないで見守るという親切もあります。どちらも相手のしてほしいことは何かをよく考えているという点では，同じ親切です。ですから，子どもには「同じことでも人によって感じ方や考え方は違うから，同じ一つのことでも見方を変えることによって違ってくることが，たくさんあるんだよ。」と伝えます。

道徳の正解はどこに？

那覇市立古蔵中学校
校長　上江洲　毅

道徳の正解は，だれかが決めることではありません。では，道徳の正解は，どこにあるのでしょうか。
道徳の正解は，生徒自身が求めるものです。“決める”のではなく“求める”，“求め続ける”ものです。
その時に大切なのは，なぜそう考えたのか，なぜそう判断したのか，自分の考えをしっかり持つことです。また，その考えを学級のみんなに伝えたり，友達の意見を聞いて自分の考えと比べたりすることも大切です。そして，自分が考えた正解は，今の自分の正解であり，ずっと同じままとは限りません。成長の過程や環境の変化で，正解が変わってくる場合があります。人間として生きていく中で，道徳の正解を求め続けることが一番大事だと思います。

よりましな答えを自分たちで見つけていかなきゃ

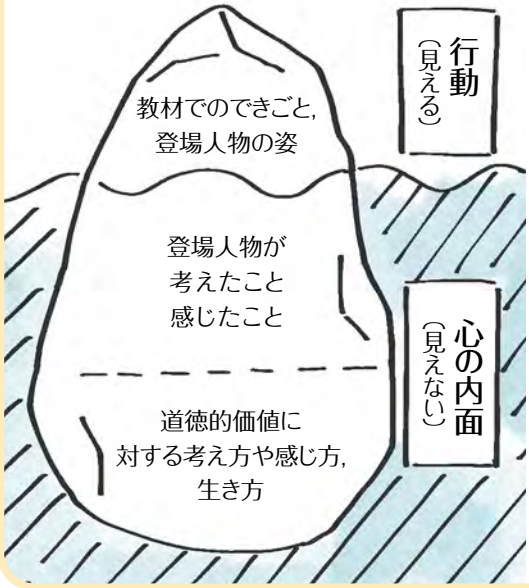
愛知教育大学
教授　野平慎二

これからの時代は「考え，議論する道徳」への転換が目指されていますので，子どもから上のように質問されたら，「道徳には正解はないんだよ」という正解（？）を返すのではなく，「道徳の正解って何だろうね？」と切り返し，子どもと一緒に考え，議論してはどうでしょうか。「人を殺してはいけない」など，正解に見える道徳的価値にも，詳しく見ると例外やグレーゾーンがあります（戦争や安楽死などはその典型でしょう）。発達段階にもよりますが，子どもとの議論のなかで，大人（先生）でさえも唯一の正解を知らず，教えてくれず，これまでもこれからも相手の立場を考えながら，自分たちでそのつどよりましな判断を下していくしかない，という姿勢の大切さに子どもたち自身が気づいてくれれば大成功でしょう。

どうする？とくだ先生！
マンガで考える道徳教育

このページ以降は，
裏表紙側から逆向きに
お読みください。

第6話 まとめ



生徒の考えが深まる授業にするためには，**「道徳的価値に対する考え方や感じ方，生き方」**まで考え合うようにしましょう。

「どうする？ とくだ先生！ マンガで考える道徳教育」を
お読みくださり，誠にありがとうございます。
いかがでしたでしょうか？
一道たちの物語はこれで一区切りとなりますが，
またどこかでお会いできることを願っています！

このマンガの1～5話は弊社ウェブサイトで公開中！
ぜひご覧ください！
http://www.nichibun-g.co.jp/doutoku/

⚠裏表紙側から逆向きにお読みください。

第6話完

ララ…モモとルルの上司。犬の姿をしている。

⚠裏表紙側から逆向きにお読みください。

モモ…「道徳」について教えてくれる妖精（？）。一道にしか見えない。

ルル…モモと一緒に「道徳」について教えてくれる妖精（？）

⚠ 裏表紙側から逆向きにお読みください。

徳田一道…主人公。新任の中学校教師。悩んでいる。

一道の同僚…一道とともに道徳の授業について模索中。

第6話 どうすれば，生徒の考えが深まる授業になるんだろう？

このマンガは……弊社ウェブサイトで公開中の「道徳教育」を解説するマンガです。ここでは、第6話を掲載しています。1～5話はウェブサイトをご覧ください。

弊社ウェブサイトで好評公開中の
「どうとくマンガ」いよいよ最終回!

どうとくする?だ先生!

マンガで考える道徳教育

監修：畿央大学大学院 教授　島 恒生
作画：たら子
原作：日本文教出版 編集部

地球の仲間からのメッセージ

元大阪市天王寺動物園 園長　長瀬 健二郎

準　備

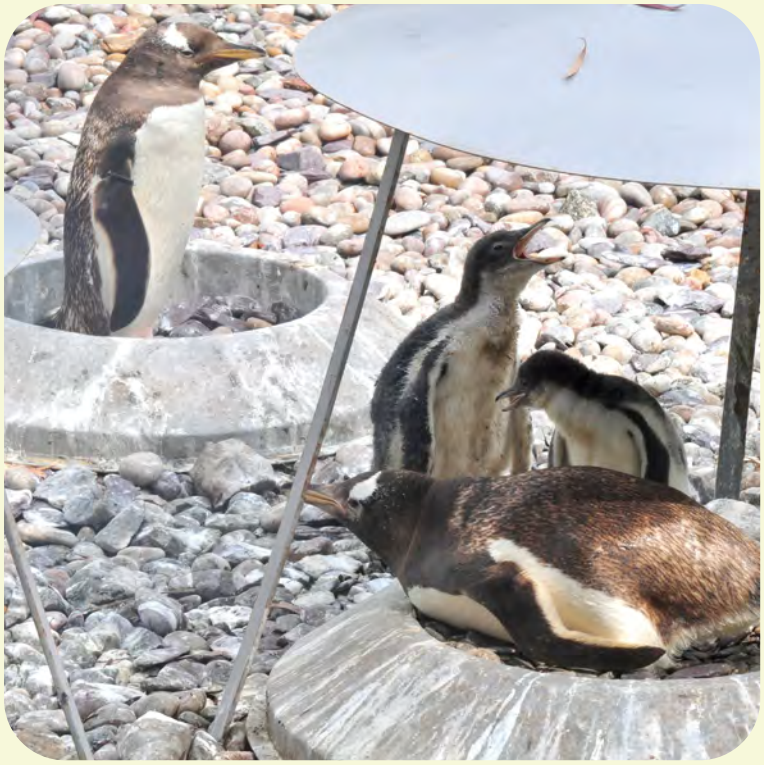
動物もヒトも社会に巣立つ前に準備をしておくことは必要不可欠です。鳥の場合，その準備の仕方は大きく分けて二つの方法があります。それは卵から孵化（ふか）してすぐに巣を離れる「離巣性」と孵化しても長く巣に留まる「留巣性」です。

まず離巣性ですが，このタイプのヒナは孵化した時点で目はもう明いていて，綿羽（めんう）も生えています。数時間して濡れていた綿羽が乾く頃になると親の後について走り回ることができます。地上に巣をつくるカモやキジ，チドリの仲間で多く見られます。孵化したヒナは敵に見つかりやすいので，いつまでも巣に留まっているわけにはいかないのです。

それに対し留巣性のものは，スズメの仲間やインコ，フクロウの仲間などで，ヤブの中や木の洞，穴の中など，外敵に見つかりにくいところに巣をつくるもので多く見られます。このタイプのヒナは，孵化した時点では目はまだ明いていませんし，綿羽も生えておらず，文字通り赤裸の状態です。歩くことなど論外で，ひたすら親に温めてもらって体温を維持しなければ死んでしまうほどかよわい存在です。お腹がすくと親が動く振動に反応して鳴き，口にエサを入れてもらう，この繰り返しで成長していきます。ようやく巣立った後でも，枝にとまって親の運ぶエサを待ちます。これはエサを獲得するのに経験と技術を要するもの，すなわち昆虫など上手に逃げたり隠れたりする他の生き物を獲物とするものによく見られます。自分で獲物を捕ることができるようになるまで親と一緒に過ごし，狩りの仕方を親から学んでから独立するのです。

一方，離巣性の鳥では，動かない木の実や草の種など植物をエサにするものが多く，その植物が生えているところに行きさえすれば食べることができます。ただ，いつ頃どこに行ってどういうふうに探せばエサが食べられるかということは学習する必要があります。これは親に教えてもらうのですが，その親を親であるとしっかり認識しなければなりません。そのために起こるのが「刷り込み」現象です。この言葉は誤って使われることがよくあるのですが，本来の意味は，孵化後間もなく目にした，ある一定の大きさの動く物体を親と認識する，そして一度刷り込まれると一生刷り直しされることがない，という現象です。

離巣性の鳥も留巣性の鳥も，このような過程があって初めて社会に巣立つことができるのです。独り立ちするには入念な準備が必要であることに変わりありません。



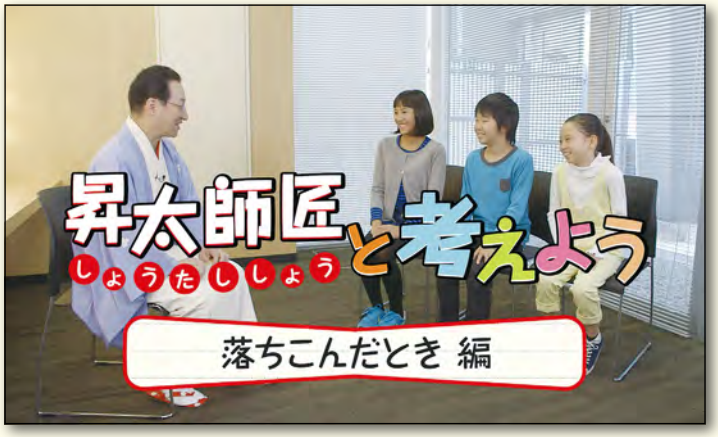
▲ペンギンは留巣性です。
（北アイルランドのベルファスト動物園にて）

教科化の準備はコレで安心！！

中学校道徳 副読本

中学校道徳
新 あすを生きる
1～3年

- 「いじめ」「安全教育」「情報モラル」など、「特別の教科 道徳」で重視される題材を豊富に掲載！
- 「多面的・多角的」に考えられるように、文章が平易で、身近な内容の資料を精選！
- 付録「ワークシート集」「教師用DVD-ROM」で、“あっ”という間に準備ができる！
- 「問題解決的な学習」等をサポートした指導書で、“あっ”と言わせる授業ができる！



「昇太師匠と考えよう」
日文Webサイトにて動画配信中！

「笑点」の司会やドラマなどで活躍中の落語家，春風亭昇太師匠が伝統文化や友情について子どもたちと語り合います。

ただ今，日本文教出版Webサイトで「受けついでいくもの編」「落ちこんだとき編」などを順次公開中。道徳の時間にクラスで視聴するなど，ぜひご活用ください。

道徳と日文
これまでも、これからも

昭和33年，「道徳の時間」が特設されて以来，私たちは小学校，中学校の副読本をはじめ数々の教材を発行してまいりました。
「特別の教科　道徳」のスタートにあたり，よりよい道徳教育を推進するためにこれからも歩み続けます。

どうとくのひろば No.17

日文教育資料［道徳］

平成29年（2017年）5月20日発行

編集・発行人　佐々木秀樹

発行所　日本文教出版株式会社
〒558-0041　大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL：06-6692-1261

本書の無断転載・複製を禁じます。

デザイン：モスリングラフィック

CD33360

日本文教出版 株式会社
http://www.nichibun-g.co.jp/

大阪本社　〒558-0041　大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL:06-6692-1261　FAX:06-6606-5171

東京本社　〒165-0026　東京都中野区新井1-2-16
TEL:03-3389-4611　FAX:03-3389-4618

九州支社　〒810-0022　福岡市中央区薬院3-11-14
TEL:092-531-7696　FAX:092-521-3938

東海支社　〒461-0004　名古屋市東区葵1-13-18-7F・B
TEL:052-979-7260　FAX:052-979-7261

北海道出張所　〒001-0909　札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL:011-764-1201　FAX:011-764-0690